

# 妊娠中の方や妊娠の可能性がある方は、 ジカ熱の流行地※1への 渡航を控えましょう。

- ・ジカ熱（ジカウイルス感染症）は、ウイルスを持つ蚊に刺されることで感染します。
- ・通常は比較的軽症で済みますが、**妊婦の感染は胎児の小頭症を引き起こす原因になります。**
- ・やむを得ず流行地に渡航する場合は、**厳重な防蚊対策※2**を講じることが必要です。また、流行地から帰国後最低6か月間は妊娠を控えましょう。
- ・男女ともに、流行地に滞在中と、流行地から帰国して最低6か月間（妊娠中のパートナーがいる場合は妊娠期間中）は、症状の有無に関わらず、性行為の際にはコンドームを使用するか、性行為そのものを控えることが推奨されます。（性行為による感染事例が報告されているため）

## ※1 流行地（2016.12.16 現在） ※今後、変更される場合があります

＜中南米・カリブ海地域＞アンギラ、アンティグア・バーブーダ、アルゼンチン、アルバ、バハマ、バルバドス、ベリーズ、ボリビア、ボネール、ブラジル、英領バージン諸島、ケイマン諸島、コロンビア、プエルトリコ、コスタリカ、キューバ、キュラソー島、ドミニカ国、ドミニカ共和国、エクアドル、エルサルバドル、仏領ギアナ、グレナダ、グアドループ、グアテマラ、ガイアナ、ハイチ、ホンジュラス、ジャマイカ、マルティニーク、メキシコ、モントセラト、ニカラグア、パナマ、パラグアイ、ペルー、サバ島、サン・バルテルミー島、セントルシア、セント・マーティン島（仏領サン・マルタン及び蘭領シント・マールテン）、セントビンセント及びグレナディーン諸島、シント・ユースタティウス島、セントクリストファー・ネイビス、スリナム、トリニダード・トバゴ、タークス・カイコス諸島、米領バージン諸島、ベネズエラ  
 ＜オセアニア・太平洋諸島＞米領サモア、フィジー、ミクロネシア連邦コスラエ州、マーシャル諸島、ニューカレドニア、パラオ、パプアニューギニア、サモア、トンガ  
 ＜アフリカ＞カーボベルデ、ギニアビサウ  
 ＜アジア地域＞インドネシア、マレーシア、モルディブ、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム  
 ＜北米地域＞米国フロリダ州の一部、米国テキサス州の一部

## ※2 防蚊対策（蚊に刺されない対策）

- ◎ 日中蚊の発生しやすい場所に近づかない。
- ◎ 長袖・長ズボンを着用し、靴下を履くなど、肌を露出しない。
- ◎ 虫よけ剤を使用する。
- ◎ 屋内でも蚊取り線香、蚊帳（かや）、網戸を使用する。 など

ジカウイルス感染症に関する詳しい情報については、[厚生労働省](#)や[横浜市保健所](#)のホームページをご覧ください。

お問合せ：各区の福祉保健センター福祉保健課健康づくり係(TEL(市外局番:045)) 平日 8:45~17:00



2016.12.19

青葉	978-2438	旭	954-6146	泉	800-2445	磯子	750-2445	神奈川	411-7138	金沢	788-7840
港南	847-8438	港北	540-2362	栄	894-6964	瀬谷	367-5744	都筑	948-2350	鶴見	510-1832
戸塚	866-8426	中	224-8332	西	320-8439	保土ヶ谷	334-6345	緑	930-2357	南	341-1185

健康福祉局健康安全課  
健康危機管理担当  
TEL: 671-2463